

3月の果実の見通し

令和2年2月29日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森	6814	70%	7036	269	高い	297	24	0.4%	出回りは青森県産の貯蔵品のみ。産地の在庫は「サンふじ」中心で、数量は前年を下回る。下位等級品の比率が平年より高く、小玉傾向だが、食味は良好。 年内から続いている入荷減、単価高での流れは、3月になっても変わらない。輸出向けの動きは、もともと旧正月後は少ない時期であるが、前年の動きと大きな差はみられない。
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 ほか	5108	105%	4488	1333	安い～平 年並み	1237	-	-	2月上旬まで曇雨天が続き、気温も低いことから生育が遅れたが、2月中旬以降、天候が回復し、各品種とも2果房の出荷ピークに入った。 3月に入っても関東産「とちおとめ」、九州産地とも出荷量は多い。 3果房は、早い生産者では3月中旬から出始め、下旬から本格出荷、出荷量は4月中旬まで潤沢である。
キウイ	福岡 和歌山 愛媛	810	110%	885	516	高い	500	-	-	輸入品は例年どおり1月いっぱいではほぼ終了。 国産「 Hayward 」は各産地とも小玉だった前年より玉伸びは良好。 作柄も平年作であり、入荷量は減少した前年よりは上回るが、玉伸び、食味とも仕上がりが良く、価格は前年並みからやや高と堅調な見込み。
みかん類	静岡 長崎 熊本 ほか	1483	80%	2133	428	安い	358	-	-	静岡県産の出荷が前年より少なく、入荷量が若干少ない状況で、2月下旬からの販売環境は悪くない。 3月は「誉れ」など特別な商品や、香川県、徳島県産の貯蔵品のみ販売となるため、価格は若干高く推移する見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)